

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会主催 第7回乳房超音波技術講習会のご案内

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

共催：NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構（精中機構）教育・研修委員会

下記のごとく、乳房超音波技術講習会を開催致しますので、ご応募ください。

本講習会の目的は超音波併用乳がん検診の精度向上で、対象は乳がん検診の超音波検査に従事、もしくは従事予定、あるいは精密検査機関の乳房超音波検査に従事している技師（臨床検査技師および診療放射線技師）あるいは看護師です。乳房超音波検査経験のない方は受講できません。また前回の講習会受講、あるいは試験のみの受験から6ヶ月以上経過していることが必要です。

受講者の決定は先着順ではなく、経験症例数・超音波画像の持参可否・検診への関与の程度・申込回数などの要件を考慮し日臨技会員を優先して選考を行います。所定の申込テンプレートにもれなくご記入の上、お申し込み下さい。応募者多数の場合は受講できないこともありますのでご了承下さい。受領後3営業日以内に確認メールを返信いたしますので、ご確認ください。

本講習会は2012年度までJABTS（日本乳腺甲状腺超音波診断会議、現在は日本乳腺甲状腺超音波医学会に改称）が主催あるいは共催していた乳房超音波講習会を引き継ぐものです。2019年4月より導入された資格更新制度に伴い、**本講習会を更新講習会の代わりとして受講いただくことも可能ですが、その際は必ず申込み用紙にその旨ご記載ください**。事前の申し出がなければ更新対象となりませんのでご注意ください。なお資格更新制度に関する詳細は精中機構のホームページにてご確認ください（https://www.qabcs.or.jp/us/update_u_faq.html）。

受講なさる際にはハンズオンで使用する、ご自身で検査を施行した（あるいは施設での）乳房超音波画像を持参していただきます。ハードコピーの場合はそのままお持ち帰りいただきます。ソフトコピーに関してはレンタルパソコンに一時的にコピーし、講習会終了時に消去いたします。本講習では超音波検査をよりよく行うために個別の評価とアドバイスも重視しております。ご理解を頂きたいと存じます。

講習・試験ではパソコンを使用しますので、マウス操作に慣れていることが必要です。皆様のお申し込みをお待ちします。

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
担当 三塚 幸夫、担当理事 山本 幸治

記	
日 時	2020 年 2 月 15 日 (土) 9:00 ~ 19:10 (予定) 2020 年 2 月 16 日 (日) 8:30 ~ 16:00 (予定)
対象者・定員	超音波に従事している臨床検査技師、診療放射線技師、看護師等 48 名 ※日臨技会員を優先いたします
会 場	東邦大学医療センター大森病院
受講料	33,000 円 (税込) ※交通・宿泊・食事の手配及び費用は含みません
当日のスケジュール	乳房超音波技術講習会 (技師対象)
申込期限	2019 年 10 月 16 日 (水) ~ 2019 年 11 月 22 日 (金) 必着 gyomuka@jamt.or.jp 宛に申込用紙を添付ファイルでお送りください。 ※3 営業日以内に申込書受領メールを送信致しますので、必ずご確認ください。
注意事項	<p>*受講者選考結果は、12 月中旬までに封書にてご案内予定です。受講が決定された方は受講案内に従って期日までに受講料をお振込ください。</p> <p>*ご案内発送などの進行状況は日臨技ホームページの最新ニュースに掲載致します。</p> <p>*受講証の授与にはすべての講習をお受け頂くことが必要です。ただし、試験問題の解答のみは交通機関の状況によって、早退を可とします。</p> <p>*2018 年 8 月以降の開催講習会において、画像試験時に本やメモ等を参照することは不可となりますのでご了承ください。</p> <p>*2019 年 4 月より導入された資格更新制度に伴い、本講習会を更新講習会の代わりとして受講いただくことも可能ですが、その際には必ず申込用紙にその旨ご記載ください。事前の申し出がなければ更新対象となりませんのでご注意ください。</p> <p>* 資格更新制度に関しては、精中機構ホームページにてご確認ください (https://www.qabcs.or.jp/us/update_u_faq.html)。</p>
問合せ先	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 事務局 〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7 TEL. 03-5767-5435 担当: 内海 gyomuka@jamt.or.jp